



宮城学院女子大学宮原ゼミ
チームビジネスエンジニアMGU



林 愛乃
HAYASHI AINO
: 広報担当
和紙チーム



大塚 鼓音
OTUKA KONO
: 和紙チーム



加藤日奈
KATO HINA
: リーダー
竹細工チーム



後藤 瑠佳
GOTO RUKA
: 広報担当
竹細工チーム



今野 朱理
KONNO AKARI
: 会計担当
竹細工チーム

指導教員: 宮城学院女子大学 宮原育子教授
協働事業者: 白石市佐藤紙子工房、大崎市竹工芸館

～県内の魅力分析～

宮城県は150周年を迎えた＝歴史ある土地

- ➡ 伝統が多く存在している
- ➡ 「**伝統産業**」に焦点を当てる。

県内の伝統産業の現状

- ・職人さんの高齢化や後継者不足
- ・輸入品や安価な商品で代用できるようになり、伝統工芸品の衰退



現代社会の現状

- ・生活様式の変化により、伝統産業離れが生じてしまっている。
- = 人々の**伝統産業への興味関心**が薄れている。

課題

- ・伝統工芸品との出会いの場づくり
- ・伝統工芸品の魅力発信と現代のニーズに合わせた**新商品開発**

～目的～

～若者の伝統産業離れの**解消**と後継者**発掘**、
現代のニーズに合わせた**新商品開発**～

- ▶ 県内の伝統工芸品に触れ、伝統産業に**興味関心**を持ち、宮城の美を若者に認識させる。
- ▶ 伝統産業の技術や美学から、現代にも受け入れられ新しい形で伝統を**理解**し、その土地に**関心**を呼び起す。

▶ アンティークボタン
現代のニーズに合わせ、女性にも親しみやすいデザインに

白石和紙

岩出山しの竹細工

アンティークボタン

▶ 白石和紙

草木染した和紙に「拓本染」する和紙が「白石拓本染和紙」と言い、模様が入った和紙で古くから東北を伝える名品の1つとなっている。
特徴：強度と耐久性に優れている。
→着物などの衣服が作られる。

▶ 岩出山しの竹細工

「しの竹」の皮の部分を使用し、表皮を内側にして編み込んで作られる。
特徴：弾力性と耐久性に優れている。
→籠やざるが作られる。

活動スケジュール

7月

- ・佐藤紙子工房さん(白石和紙)と竹工芸館さん(岩出山しの竹細工)へ電話やメールでコンタクトとった。
- ・ロゴマーク作成。
- ・佐藤紙子工房さんへ第1回目訪問。

8月

- ・竹工芸館さんへ第1回目訪問。
- ・試作品制作、宮原ゼミで試作品お披露目。アンケート実施
- ・佐藤紙子工房さんへ第2回目訪問。白石和紙購入。

9月

- ・竹工芸館さんへ第2回目訪問。岩出山しの竹細工購入。
- ・ランチ仙台まちづくりスポット仙台でワークショップ開催。アンケート実施。

bz._miyagi150

+



11

投稿

132

フォロワー

172

フォロー中

チームビジネスエンジニアMGU

宮城学院女子大学 現代ビジネス学科 宮原ゼミ「チームビジネスエンジニアMGU」です！
宮城県制150周年記念事業の活動に参加しています。この活動では、宮城の伝統工芸品の魅力を身近に感じて頂けるよう、白石和紙と岩出山しの竹細工をコラボさせたパレットの制作・販売、ワークショップを行なっています！！
miyagi150th.pref.miyagi.jp/

- 活動期間中は、Instagramの @bz.miyagi150で情報発信を行ってました！

白石和紙

5種類の和紙を購入



試作品の作成



ボタンの大きさ変更



くるみボタンのサイズに丸くカット

試作品段階では18mmのくるみボタンを使用
試作品を宮原ゼミでお披露目、アンケート実施
くるみボタンと竹細工、アンティークボタンの隙間が気になるという意見

➡ くるみボタン22mmに変更

岩出山しの竹細工

風車の竹細工を購入



試作品の作成



やすり掛け・ニス塗



試作品段階では竹細工の先端を削らずに使用
先端が指などに刺さってしまうことを防ぐ、竹の劣化を防ぐ



➡ 竹細工のやすり掛け、ニス塗

ワークショップ

モニターとして参加していただくため、アンケートに答えていただくことを条件に、参加費材料費は無料で開催！

場所：ランチ仙台 まちづくりスポット仙台
日時：9月24日（土）11：00～16：00
参加人数 先着20名

ワークショップ

各自で思い思いにデザインした世界で一つのバレッタ作成



5種類の模様の
違う白石和紙を2種選ぶ



くるみボタンの作成



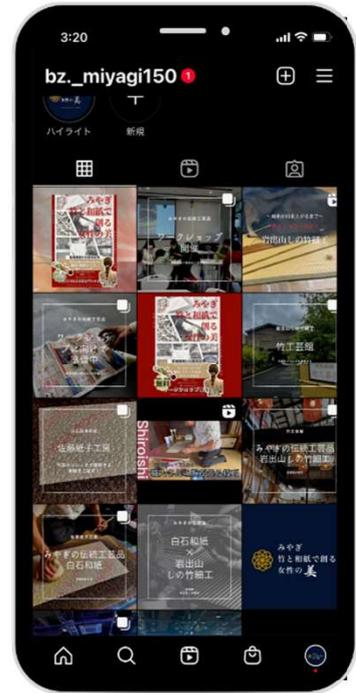
50種類の中からアンティークボタンを2つ選ぶ



岩出山しの竹細工を接着



Instagram での宣伝



事前にチラシ・ロゴを作成
店頭立ちチラシ配布・声かけ

ワークショップでの様子



作り方をレクチャー

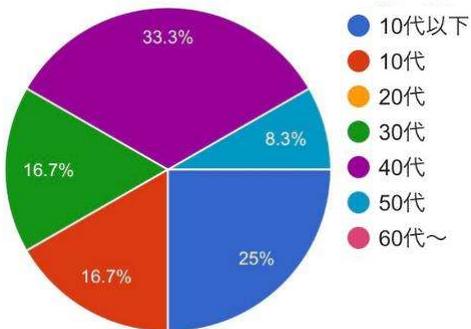


参加者の完成した作品



アンケート質問事項

1. 年代
2. 性別
3. 宮城の伝統工芸品に興味関心はあるか
4. 岩出山の竹細工が宮城の伝統工芸品であることを知っていたか
5. 白石和紙が宮城の伝統工芸品であることを知っていたか
6. 岩出山の竹細工の魅力を知っていたか
7. 白石和紙の竹細工の魅力を知っていたか
8. バレッタに魅力を感じていたか
9. ワークショップに参加しようと思った理由
10. 白石和紙の柄5種類のうちどれが一番好きか
11. ワークショップを通して宮城の伝統工芸品に興味を持ったか
12. このバレッタはどのくらいの価格だと手に入れたいと思うか
13. バレッタについての感想



Q1 年代を教えてください

比較的幅広い年代の方にアンケートに答えて頂くことができた。特に40代と10代以下からの回答が多く親子連れの方に多く参加頂くことができた。しかし20代からの回答を得ることができなかった。



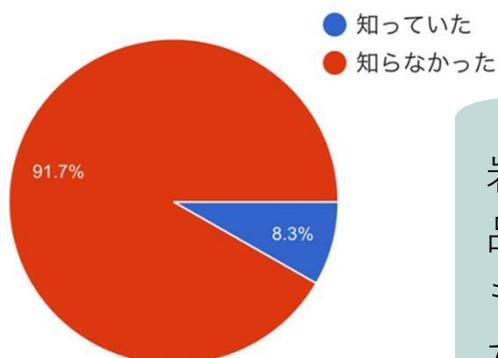
Q2 宮城の伝統工芸品に興味関心はありますか

「少しある」と回答した方が半数の50%「ある」が25%。

Q3

	知っていた	知らなかった
岩出山しの竹細工が宮城の伝統工芸品であることを知っていましたか	8.3%	91.7%
白石和紙が宮城の伝統工芸品であることを知っていましたか	8.3%	91.7%

Q4



岩出山しの竹細工、白石和紙が伝統工芸品であることを認知していたのはどちらも8.3%。全回答数12件のうちの1件のみ。ただし同一者ではない回答であった。

Q5

	知ることができた	あまり分からなかった	分からなかった
ワークショップを通して岩出山しの竹細工の魅力を知っていただけましたか	100%	0%	0%
ワークショップを通して白石和紙の魅力を知っていただけましたか	100%	0%	0%
パレットに魅力を感じていただけましたか	100%	0%	0%

Q6

Q7

Q8

	持った	持っていない
このワークショップを通して宮城の伝統工芸品に興味関心を持ちましたか	100%	0%

Q9 ワークショップ・バレッタについての感想

現代と伝統文化の中間的な融合で
分かりやすい

和紙の柄がとてもかわいい
凹凸が特にきれい

チラシのバレッタが素敵

自分で作ることがとても楽しかった

和紙が同じ柄でも一枚一枚ボタンに使用する
面が異なるので和紙を選ぶ作業が楽しかった

1日だけでなく別日や他の場所でも
またワークショップを開催してほしい！

思っていたより簡単にバレッタが作れて
家でも自分達で作ってみたい！

この活動で得られた効果

- 伝統工芸品に触れる機会の創出
- 宮城の伝統工芸品の知名度の拡大
- 宮城の伝統工芸品の興味関心の増大
- 伝統工芸品の新たな魅力発見、理解
- 伝統工芸品に対する印象の変化



活動を通して

- 伝統工芸品は世代を問わずに惹きつけられる魅力があることを知った。
- 伝統工芸品に触れること、その存在を知ることは地域そのものを知る入口になる
→ より地域が魅力的に感じられることを知った
- 伝統工芸品は日常に彩りを与えてくれる存在であり、宮城が誇る美、さらには日本が誇る美であると知った。

訪問から見てきた伝統工芸品の現状

白石和紙

- 職人さんが90代ぐらいの方がお一人でやっていた。
→ 後継者不足
- 以前は、着物などが衣服に使用されていた。
→ 時代の流れに伴って、着物やのきる機会が減った。



アパレルメーカーとのコラボ商品やアクセサリ—
名刺入れなど日常に親しみやすい商品の開発が実施。

岩出山しの竹細工

- 職人さんが減少し、高齢化が進む
→ 後継者不足
- かごやざるに使用されている。昔は、各家庭で竹で作られたかごやざるが使用されていた。しかし、現代の生活スタイルの変化により、需要が減少
→ 認知度が低い。



現代のニーズあったユニークな作品の制作や子供たちも親しめるよう、竹とんぼの販売の実施。

課題

- ・ 職人さんの高齢化による職人さんの減少 = 後継者がいない。
→ 今後、伝統工芸品の継承が困難になることが予想される。
- ・ 多くの方に親しんでいただける商品の工夫が必要。
- ・ 現代にアレンジされた伝統工芸品の魅力発信不足である。



宮城県制150周年記念

POP UP STORE

本日バレッタの販売会実施！

限定
15個

**場所：国際センター大ホール隣
桜ホール**
時間：式典終了後～
価格：1,000円



ご清聴ありがとうございました！